

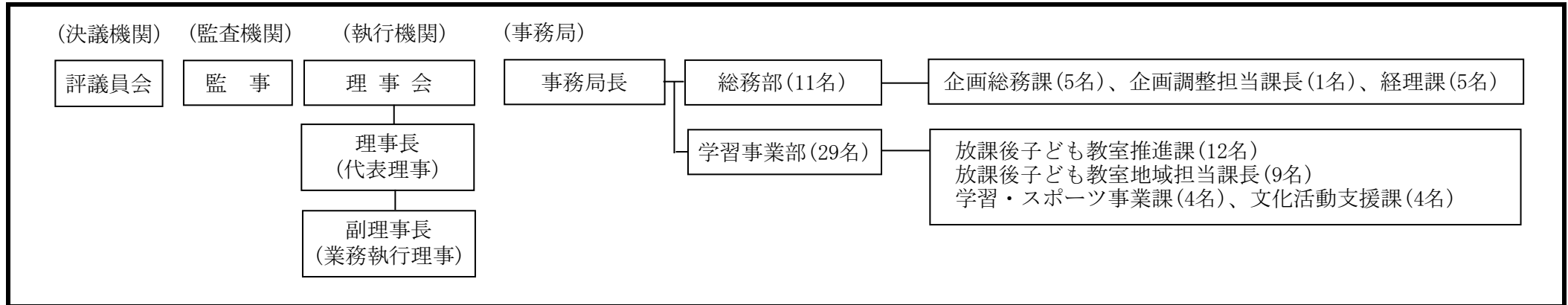
令和3年度 公益財団法人足立区生涯学習振興公社事業概要・収支決算説明書

1 概要説明

令和4年4月1日現在

名 称	公益財団法人足立区生涯学習振興公社	所 在 地	足立区千住五丁目13番5号
設 立 年 月 日 公 益 認 定	平成 5年 2月1日(平成12年4月1日名称変更) 平成21年10月1日公益財団法人	代 表 者	理 事 長 伊藤 良久
職員数(実員)	常勤26名(派遣6名 固有20名(再任用2名)) 短時間再任用2名 非常勤13名 合計41名	基 本 財 産	15 億 円

2 組織機構



3 令和3年度 経営方針と重点事項

【経営方針】

- 1 区民に学習、スポーツ及び文化活動の機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行う。
- 2 公社がこれまで展開してきた区民との協働による事業や学びの成果を地域に還元する事業を進化させ、「区民・地域・団体等との協創」により生涯学習を推進する。
- 3 「第二次中期事業計画」に基づき、事業の重点化と効率化を徹底し、区の施策との連携を深め、区民サービスの向上に努める。

【重点事項】

- 1 あだち放課後子ども教室の安定運営及び活動の充実に取り組む。
- 2 学習・スポーツ・文化の人材育成及び活動支援に取り組む。
- 3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

【新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて実施した対策】

- 1 放課後子ども教室の感染症対策では、3密回避のため、対象学年の曜日分け、児童、スタッフ間の距離の確保、対面活動の一部制限等を行い、マスク着用、手洗いの徹底、定期的な換気、共有箇所の消毒も継続して実施した。
- 2 文化事業のコンサートは有観客での開催を中止又は延期し、無観客による演奏動画を作成してYouTube配信を行った。

1 あだち放課後子ども教室事業 (R3 実績値と R2 実績値の比較)

(1) あだち放課後子ども教室の支援《区受託》

項 目	R3	R2
のべ実施日数	6,214 日	6,239 日
のべ参加児童数	205,887 人	197,996 人
活動スタッフ人数	1,117 人	1,162 人
各教室への巡回	1,871 回	1,787 回
会議・打合せ・説明会等	666 回	707 回
児童のケガ・物損等に伴う保護者対応	450 件	378 件
スタッフのケガ・物損等に伴う保険対応	5 件	4 件

- (2) スタッフ活動説明会 R3 [2 回・19 人] R2 実績値 [2 回・21 人]
- (3) 安全管理講習会(応急手当実技) R3 [52 回・666 人] R2 実績値 [49 回・664 人]
- (4) 新任安全管理講習会 R3 [3 回・53 人] R2 実績値 [3 回・36 人]
- (5) 安全管理員研修会 R3 [1 回・38 人] R2 実績値 [中止]
- (6) ブロック会議 R3 [書面開催] R2 実績値 [書面開催]
- (7) 運営委員会 R3 [中止] R2 実績値 [書面開催]
- (8) 『放課後 ^{プラスワン} + One』(放課後子ども教室における体験プログラム)
- ・放課後キッズおりがみ教室 R3 [10 回・169 人] R2 実績値 [2 回・48 人]
 - ・放課後キッズ読書支援 R3 [中止] R2 実績値 [中止]
 - ・団体連携・体験プログラム R3 [6 回・89 人] R2 実績値 [中止]
 - ・公社企画・体験プログラム R3 [11 種目] R2 実績値 [9 種目]
- (9) あだち放課後子ども教室スタッフ募集PR動画の作成、配信 R3 [作成、J:COM 放映回数 118 回] R2 実績値 [—]

2 文化事業 (R3 実績値と R2 実績値の比較)

(1) あだちアートリンクカフェ	R3 [2回・40人]	R2 実績値 [2回・39人]
(2) 文化団体等支援	R3 [5回・1,529人]	R2 実績値 [2回・332人]
(3) イベントコーディネート事業	R3 [4件]	R2 実績値 [2件]
(4) 楽団及び楽団友の会の運営支援、演奏活動の支援《区受託》	R3 [52回・2,919人]	R2 実績値 [31回・1,170人]
(5) 足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬)	R3 [1回]	R2 実績値 [中止]
(6) コンサート in ミュージアム	R3 [中止又は延期]	R2 実績値 [中止]
(7) コンサート in ミュージアム PR 動画の作成、配信	R3 [2施設作成]	R2 実績値 [2施設作成]
(8) ドラムサークル in A-Festa 2021	R3 [中止]	R2 実績値 [中止]
(9) まちかどミュージック	R3 [中止]	R2 実績値 [中止]
(10) 小学校アウトリーチコンサート	R3 [20回/8校・610人]	R2 実績値 [7回/3校・194人]
(11) 子どもの未来応援アウトリーチコンサート	R3 [2回・53人]	R2 実績値 [2回・46人]

3 生涯学習・スポーツ事業 (R3 実績値と R2 実績値の比較)

(1) あだち子どもサポーター支援事業	R3 [25回・310人]	R2 実績値 [16回・294人]
(2) スポーツ指導者スキルアップ講習会《区受託》	R3 [4回・106人]	R2 実績値 [8回・149人]
(3) 健康づくり・スポーツ活動支援講座	R3 [2回・63人]	R2 実績値 [2回・90人]
(4) 地域活動支援講座	R3 [1回・40人]	R2 実績値 [3回・70人]
(5) 地域学習コーディネート事業	R3 [1件]	R2 実績値 [1件]
(6) 読み語りキャラバン隊によるおはなし会	R3 [3回・84人]	R2 実績値 [2回・43人]

4 広報事業 (R3 実績値と R2 実績値の比較)

(1) 「公社ニュース トキメキ」での事業等情報発信	R3 [12回]	R2 実績値 [10回]
(2) 公社ホームページによる情報提供事業	R3 [アクセス数 23,174回]	R2 実績値 [アクセス数 21,036回]

5 正味財産増減計算書

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1) 経常収益

公益目的事業会計・法人会計

単位：円

勘定科目	当年度	前年度	増減	内訳・増減理由
基本財産運用益				
基本財産受取利息 <1>	6,604,430	9,128,413	▲ 2,523,983	債券の満期償還による利息収入の減
基本財産運用益計 <2>	6,604,430	9,128,413	▲ 2,523,983	
特定資産運用益				
特定資産受取利息 <3>	754,420	748,605	5,815	
特定資産運用益計 <4>	754,420	748,605	5,815	
その他の固定資産運用益				
その他固定資産受取利息 <5>	52,079	60,493	▲ 8,414	
その他の固定資産運用益計 <6>	52,079	60,493	▲ 8,414	
事業収益				
受託事業収益 <7>	125,615,158	127,820,588	▲ 2,205,430	放課後子ども教室業務委託料1,100,000円の減 足立ジュニア吹奏楽団業務委託料1,080,000円の減
事業収益計 <8>	125,615,158	127,820,588	▲ 2,205,430	
受取補助金等収益				
受取区補助金 <9>	290,043,667	285,949,232	4,094,435	「公社ニュース トキメキ」が自主事業予算から補助金になったことによる増
受取補助金等収益計 <10>	290,043,667	285,949,232	4,094,435	
雑収益				
受取利息 <11>	36,080	57,448	▲ 21,368	低金利による利息収入の減
雑収益 <12>	0	35,673	▲ 35,673	
雑収益計 <13>	36,080	93,121	▲ 57,041	
経常収益計 <14>	423,105,834	423,800,452	▲ 694,618	

(2) 経常費用

公益目的事業会計

単位：円

勘定科目	当年度	前年度	増減	内訳・増減理由
事業費				
役員報酬 <15>	3,573,984	3,741,605	▲ 167,621	
給料手当 <16>	150,211,031	151,828,330	▲ 1,617,299	賞与月数の減(4.60月から4.45月)
福利厚生費 <17>	37,506,052	37,461,670	44,382	
退職給付費用 <18>	14,525,391	16,278,294	▲ 1,752,903	退職手当積立金の不足額が少なかったことによる減
賃金 <19>	32,204,356	32,130,643	73,713	
会議費 <20>	20,944	26,942	▲ 5,998	外部講師との打合せが減ったことによる減
旅費交通費 <21>	123,874	128,110	▲ 4,236	
通信運搬費 <22>	835,996	811,561	24,435	新型コロナウイルスの影響により通知文書の送付が増えたことによる増
什器備品費 <23>	0	108,900	▲ 108,900	購入がなかったことによる減
消耗品費 <24>	6,605,379	7,326,079	▲ 720,700	物品購入が減ったことによる減
修繕費 <25>	112,761	308,066	▲ 195,305	楽器修繕の減
印刷製本費 <26>	266,200	734,580	▲ 468,380	放課後子ども教室印刷物の減
賃借料 <27>	724,969	790,676	▲ 65,707	施設使用料の減
保険料 <28>	1,272,940	1,512,060	▲ 239,120	放課後子ども教室の稼働日数が減ったことに伴う傷害保険及び賠償責任保険料の減
租税公課 <29>	78,000	0	78,000	消費税の納付による増
諸謝金 <30>	114,720,135	110,584,188	4,135,947	放課後子ども教室の活動時間数が増えたことによるスタッフ謝金の増
委託費 <31>	12,758,438	10,137,760	2,620,678	動画制作に関する業務委託費の増
負担金 <32>	114,900	115,700	▲ 800	
交付金 <33>	4,558,857	8,380,364	▲ 3,821,507	放課後子ども教室実行委員会管理の感染症対策費分の減
(公益)事業費計 <34>	380,214,207	382,405,528	▲ 2,191,321	

(2) 経常費用

法人会計

単位：円

勘定科目	当年度	前年度	増減	内訳・増減理由
管理費				
役員報酬 <35>	367,485	384,064	▲ 16,579	
給料手当 <36>	14,856,045	15,015,765	▲ 159,720	賞与月数の減(4.60月から4.45月)
福利厚生費 <37>	4,446,264	4,440,368	5,896	
退職給付費用 <38>	1,388,794	1,564,092	▲ 175,298	退職手当積立金の不足額が少なかったことによる減
賃金 <39>	3,185,070	3,177,781	7,289	
旅費交通費 <40>	12,270	42,604	▲ 30,334	近接地外出張がなかったことによる減
通信運搬費 <41>	2,179,329	2,183,224	▲ 3,895	
什器備品費 <42>	898,370	183,480	714,890	事務室ブラインド老朽により入れ替えたことによる増
消耗品費 <43>	834,789	866,351	▲ 31,562	消耗品購入の減
修繕費 <44>	54,350	13,100	41,250	修繕の増
光熱水費 <45>	2,041,116	2,064,706	▲ 23,590	水道・電気代の減
賃借料 <46>	2,581,820	2,456,562	125,258	コピー機新規リースによる増
減価償却費 <47>	5,167,152	5,167,152	0	
保険料 <48>	262,080	243,340	18,740	車両保険料の増
租税公課 <49>	37,200	33,005	4,195	収入印紙購入の増
諸謝金 <50>	1,608,700	1,385,500	223,200	弁護士による個人情報保護規程作成費の増
委託費 <51>	4,710,639	5,590,839	▲ 880,200	給与システム改修がなかったことによる減
負担金 <52>	178,750	191,400	▲ 12,650	研修参加の減
燃料費 <53>	147,048	125,852	21,196	燃料費値上げによる増
管理費計 <54>	44,957,271	45,129,185	▲ 171,914	

I 一般正味財産増減の部

2. 経常外増減の部

公益目的事業会計・法人会計

単位：円

(1) 経常外収益

(2) 経常外費用

勘定科目	当年度	前年度	増減
(1) 経常外収益 経常外収益計 <55>		0	0
(2) 経常外費用 経常外費用計 <56>		0	0
当期経常外増減額 <57>		0	0

一般正味財産増減の部	当年度	前年度	増減
経常収益計 <58>	423,105,834	423,800,452	▲ 694,618
経常費用計 <59>	425,171,478	427,534,713	▲ 2,363,235
経常外収益計 <60>	0	0	0
経常外費用計 <61>	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額 <62>	▲ 2,065,644	▲ 3,734,261	1,668,617
法人税、住民税及び事業税 <63>	0	0	0
当期一般正味財産増減額 <64>	▲ 2,065,644	▲ 3,734,261	1,668,617
一般正味財産期首残高 <65>	254,789,636	258,523,897	▲ 3,734,261
一般正味財産期末残高 <66>	252,723,992	254,789,636	▲ 2,065,644

II 指定正味財産増減の部

指定正味財産増減の部	当年度	前年度	増減
当期指定正味財産増減額 <67>	0	0	0
指定正味財産期首残高 <68>	1,500,000,000	1,500,000,000	0
指定正味財産期末残高 <69>	1,500,000,000	1,500,000,000	0

III 正味財産期末残高

正味財産期末残高 <70>	1,752,723,992	1,754,789,636	▲ 2,065,644
---------------	---------------	---------------	-------------

黄色

令和3年度

事業報告書



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

経営方針

公益財団法人足立区生涯学習振興公社（以下、公社）は、区民に学習、スポーツ及び文化活動の機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行うことで生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」に寄与することを目的としている。

足立区では基本構想において、区のめざすべき将来像を「協創力でつくる活力にあふれ進化し続けるひと・まち足立」としている。また、足立区教育大綱では「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」を基本理念とし、成人期の学びについて「自ら学ぶとともにその経験を社会に還元する意欲を育てる」としている。

公社はこれまでも、区民との協働による事業を協創による事業へと発展させながら、学びの成果を地域に還元するしくみづくりに取り組んできた。今後も、「区民・地域・団体等との協創」による生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」を進めていく。

特に、子どもたちが地域の大人と出会い、多様な体験ができる場である「あだち放課後子ども教室」は、児童期の生涯学習の場であるとともに、それを支える多くの大人の生涯学習の場でもあることから、引き続き中核事業として運営支援に取り組む。

また、学習・スポーツ・文化事業については、区民の主体的な活動を促すことを目的として、生涯学習を担う人材の育成と地域における自主的な活動を支援する事業を中心に展開し、活力ある地域社会の形成に寄与していく。

令和3年度の事業計画及び予算編成にあたっては、事業の重点化と効率化を徹底するとともに、区が策定した文化・読書・スポーツ・の3分野における推進計画や、新・足立区放課後子ども総合プランの計画との連携を深め、事業の実施効果を上げていく。また、コロナ禍がもたらした社会変化を的確に捉え、「新しい生活様式」に応じたICTを活用した新たな動画配信サービスなどの提供に取り組んでいく。さらに「第二次中期事業計画」に基づき、各種事業を推進していく。

重点事項

1 あだち放課後子ども教室の安定運営及び活動の充実に取り組む。

(1) 全校全学年実施に向けた取り組み

全校での週5日開催を安定的に継続するとともに、全学年実施校の拡大に向け運営支援と課題解決に努める。

(2) 放課後子ども教室体験プログラムの充実

「新・足立区放課後子ども総合プラン」^{*}を踏まえ、体験プログラムの充実及び学童保育室との連携強化を進める。体験プログラムの実施にあたっては、区民や団体等との協創を進め、より魅力的な活動の場への発展をめざす。特に、子どもの体力向上、読書啓発を重点課題として取り組む。

* 「新・足立区放課後子ども総合プラン」:平成30年9月に、国が全校の地方自治体に通知した「新・放課後子ども総合プラン」を受け、区が策定した。新プランでは、放課後子ども教室と学童保育室との一体型実施、または連携強化を進めるとしている。放課後子ども教室については、全学年実施、体験プログラムの充実などを目指す計画。

2 学習・スポーツ・文化の人材育成及び活動支援に取り組む。

(1) 生涯学習機会の提供

地域での主体的な活動を促すための人材育成及び活動支援事業を中心に取り組むことで、学習・スポーツ・文化活動における協創力を高め、子どもから高齢者まで多くの区民への生涯学習機会の提供につなげていく。さらに、区のボトルネック的課題である貧困の連鎖を断ち切ることに資するために、児童・生徒を対象に体験機会の充実を図っていく。

(2) 学びの還元

学習・スポーツ面では、区民が学んだ成果を各々の地域や放課後子ども教室などの場に還元する様々な体験機会が広がるように、その活動を継続的に支援する。

(3) 文化・芸術に触れる機会の充実

文化面では、“アウトリーチ”をキーワードに、区の文化・読書・スポーツの三計画の共通理念に基づき、始まりとなる「楽しさに気づく」ことを重点として、区民文化・芸術を身近なところで気軽に楽しめる機会を提供する。

3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

公 社 概 要

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

設 立 平成5年2月1日（平成12年4月1日名称変更）

公益認定 平成21年10月1日公益財団法人

基本財産 15億円

代 表 者 理事長 伊藤 良久

職 員 数 41名（実員）

常勤26名（派遣6名、固有20名（再任用2名））、短時間再任用2名、非常勤13名

住 所 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21

ホームページアドレス <https://www.kousya.jp/>

組織図

（決議機関）

評議員会

（監査機関）

監 事

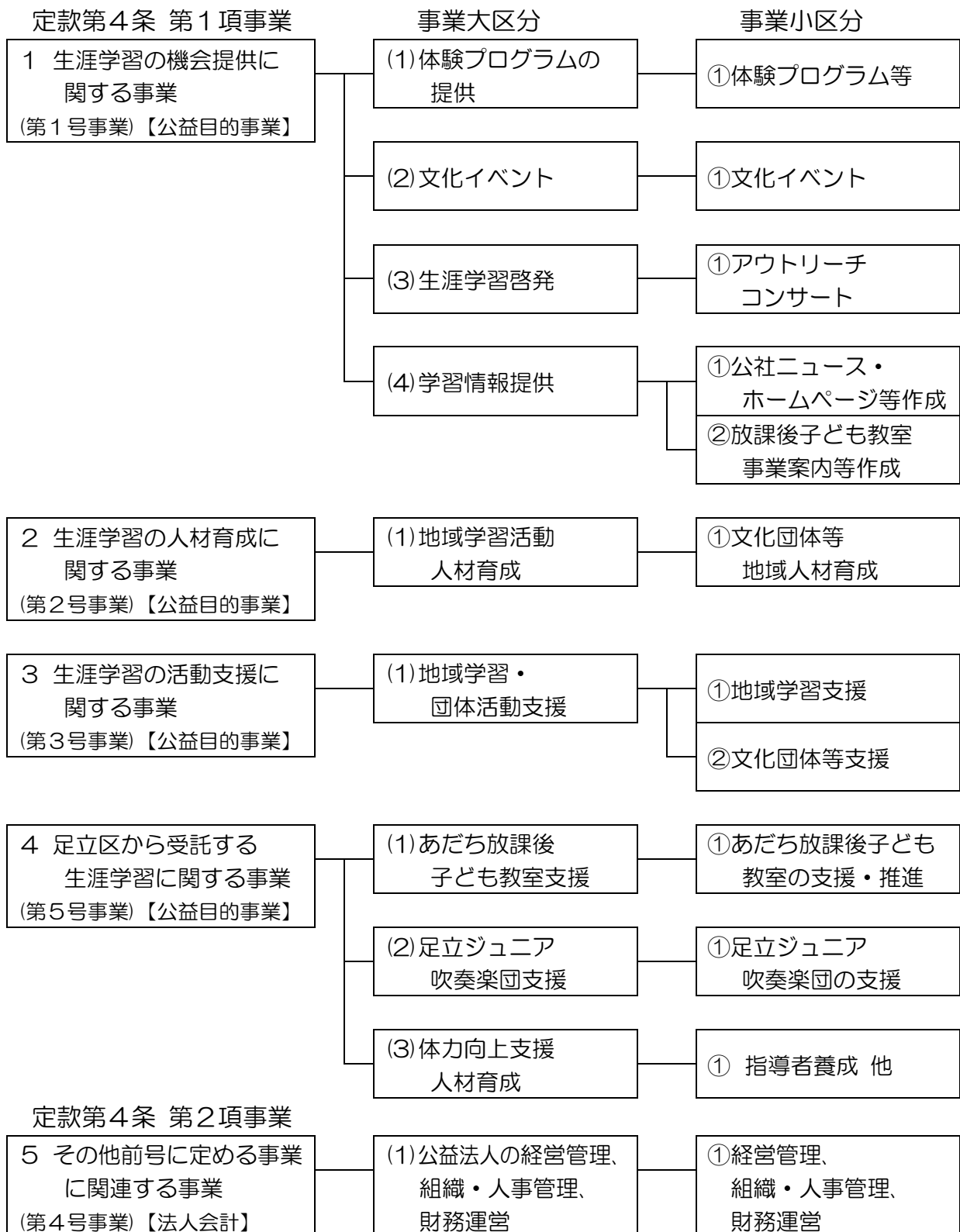
（執行機関）

理 事 会 — 理 事 長 — 副 理 事 長
(代表理事) (業務執行理事)

（事務局）

事務局長 $\left\{ \begin{array}{ll} \text{総務部} & \text{企画総務課、企画調整担当課長、経理課} \\ \text{学習事業部} & \text{放課後子ども教室推進課、放課後子ども教室地域担当課長} \\ & \text{学習・スポーツ事業課、文化活動支援課} \end{array} \right.$

令和3年度 定款事業別体系図



目 次

1 あだち放課後子ども教室事業

- 【1】 あだち放課後子ども教室の支援《区受託》 8-11
- 【2】 「放課後 ^{プラスワン} + One」(放課後子ども教室における体験プログラム) 11-13
(ア)地域人材活用・体験プログラム
(イ)団体連携・体験プログラム
(ウ)公社企画・体験プログラム
- 【3】 あだち放課後子ども教室スタッフ募集 PR 動画の作成、配信 13
-

2 文化事業

- 【1】 あだちアートリンクカフェ 14
- 【2】 文化団体等支援 15
- 【3】 イベントコーディネート事業 15-16
- 【4】 楽団及び楽団友の会の運営支援、演奏活動の支援 《区受託》 16-17
- 【5】 足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬) 17
- 【6】 コンサート in ミュージアム 18
- 【7】 コンサート in ミュージアムPR動画の作成、配信 18-19
- 【8】 ドラムサークル in A-Festa 2021 19
- 【9】 まちかどミュージック 19
- 【10】 小学校アウトリーチコンサート 19-20
- 【11】 子どもの未来応援アウトリーチコンサート 20-21
-

3 生涯学習・スポーツ事業

- 【1】 あだち子どもサポーター支援事業 22-24
- 【2】 スポーツ指導者スキルアップ講習会 《区受託》 24-25
～運動機能向上のためのトレーニング(高齢者)～
- 【3】 スポーツ指導者スキルアップ講習会 《区受託》 25-26
～運動あそびと体力向上トレーニング(子ども)～

【4】健康づくり・スポーツ活動支援講座	26
【5】地域活動支援講座	27
【6】地域学習コーディネート事業	27
【7】読み語りキャラバン隊によるおはなし会	28

4 広報事業

【1】「公社ニュース トキメキ」での事業等情報発信	29
【2】公社ホームページによる情報提供事業	29

5 その他

【1】公益目的事業に対する人件費	30
----------------------------	----

6 その他前号に定める事業に関連する事業

【1】公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営	30
---------------------------------------	----

1 あだち放課後子ども教室事業

あだち放課後子ども教室事業	予算額	226,879,000 円
	執行額	125,367,531 円

【1】あだち放課後子ども教室の支援 《区受託》 定款第4条第1項第5号 ① あだち放課後子ども教室支援（欄外説明参照） ② あだち放課後子ども教室の支援・推進	予算現額	224,176,000 円
	執行額	123,000,227 円
	年間予定	実施結果
	通年	—

概要	各小学校の放課後子ども教室への支援																																				
目的	①各小学校の放課後子ども教室の安定運営を継続する。 ②体験・交流活動の充実を図る。																																				
実施結果	<p>1 放課後子ども教室の開催状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発出等により、年度を通じて、一時休止および再開を繰り返した放課後子ども教室が多くあった。</p> <p>(1) 開催状況（全69校）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催</td> <td>64校</td> <td>50校</td> <td>63校</td> <td>65校</td> <td>2校</td> <td>51校</td> <td>68校</td> <td>67校</td> <td>65校</td> <td>3校</td> <td>17校</td> </tr> <tr> <td>休止</td> <td>5校</td> <td>19校</td> <td>6校</td> <td>4校</td> <td>67校</td> <td>18校</td> <td>1校</td> <td>2校</td> <td>4校</td> <td>66校</td> <td>52校</td> </tr> </tbody> </table> <p>※緊急事態宣言(4/25～6/20)(7/12～9/30) まん延防止等重点措置(4/12～4/24)(6/21～7/11)(1/21～3/21) 区内小学校休校(9/1～9/11)</p> <p>(2) 感染症対策</p> <p>感染予防策として、三密(密閉・密集・密接)回避のため、対象学年の曜日分け、参加児童、スタッフ間の距離の確保、対面活動の一部制限を行った。また、マスク着用、手洗いの徹底、定期的な換気、共有箇所の消毒も継続して行った。</p> <p>2 放課後子ども教室運営の支援</p> <p>(1) 各実行委員会への支援</p> <p>実行委員会等の実施調整、スタッフの募集、スタッフへの謝礼支払い代行、新任スタッフ等への運営マニュアルの配付・説明、参加児童の登録事務の支援など。</p> <p>(2) 各放課後子ども教室の日常運営への支援</p> <p>開催時の巡回、運営課題への助言、事故・トラブル対応、学校との連絡調整、スタッフ会議への出席、避難訓練の実施、運営に必要な事務の支援など。</p> <p>(3) 一時休止後の再開に向けての支援</p> <p>緊急事態宣言発出、まん延防止等重点措置適用を受け、開催していた放課後子ども教室のうち複数校が一時休止となった。実行委員会、学校と運営方法について協議をし、再開への支援を行った。</p> <p>3 スタッフへの支援</p> <p>(1) スタッフ募集の支援</p>		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開催	64校	50校	63校	65校	2校	51校	68校	67校	65校	3校	17校	休止	5校	19校	6校	4校	67校	18校	1校	2校	4校	66校	52校
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																										
開催	64校	50校	63校	65校	2校	51校	68校	67校	65校	3校	17校																										
休止	5校	19校	6校	4校	67校	18校	1校	2校	4校	66校	52校																										

ア スタッフ活動説明会の開催

対 象	実施日・会場	参加者等
一般区民	5/27(木) 午後 生涯学習センター	出席 6人(申込 10人) スタッフ登録者 4人
	10/28(木) 午後 生涯学習センター	出席 13人(申込 15人) スタッフ登録者 8人

イ スタッフ募集案内の配布

放課後子ども教室およびスタッフの活動内容や体験談等を掲載した「スタッフ募集案内」を、小学校の保護者や町会等地域住民へ配布した。あわせて、生涯学習センター等公共施設、区内の大学等へ配架し周知に努めた。

ウ 各種広報媒体等でのスタッフ募集

区・公社ホームページ、広報紙「トキメキ」、生涯学習センターでのパネル掲示

エ あだち放課後子ども教室「スタッフ募集動画」の作成、配信。(P13 参照)

(2) スタッフ講習及び研修の実施

ア 安全管理講習会(応急手当実技)

全放課後子ども教室を対象に計画していたが、講習会開催を懸念する意見等により、実施を見送った実行委員会があり、69校中52校での実施となり、666人の参加であった。新任安全管理講習会は予定どおり3回開催でき、53人の新任スタッフが、緊急時の対応、応急手当の留意点を学んだ。

イ 安全管理員研修会

(ア) 新型コロナウイルス感染症対策と子どものこころへの支援

講師:関口 久恵氏(足立区衛生部)

7月27日(火)午前 足立区役所会議室にて実施予定が、延期となり、2月9日(水)午前 生涯学習センターにて再度計画したが、中止となった。

(イ) 「LGBT」って何?～様々な子どもの居場所づくりのヒント～

10月6日(水)午前 生涯学習センターにて実施予定であったが中止となり、研修動画を撮影して配信した。動画配信 期間:12月～3月

講師:鈴木 茂義氏(LGBTと教育について考える「虫めがねの会」代表)

アクセス数 チャプター1:115回 チャプター2:68回 チャプター3:63回

※12月28日(火)上映会 参加者4名。上映会は、1月7日(金)にも予定していたが、降雪のため中止。映像資料をスタッフ会議で上映した放課後子ども教室もあった。

(ウ) 「子どもとの接し方」～子どもに「届く」接し方、話し方のコツ～

12月23日(木)午前 生涯学習センター

講師:藤後 悦子氏(東京未来大学教授)

参加者 38名

※動画配信 期間:2月～3月 アクセス数 前編:39回 後編:17回

実施
結果

4 ブロック会議、運営委員会の開催

(1) ブロック会議

区と協議し、書面開催とした。各放課後子ども教室が、密にならない運営方法として、会場や対象学年等を変更して開催している状況を、資料にて情報共有した。

- (2) 運営委員会
 令和4年1月31日(月)午後 生涯学習センター
 教育長メッセージ、講演会「LGBTの理解促進」(地域のちから推進部多様性社会推進課課長)の内容で、開催予定だったが、区と協議し、中止となった。

5 事業の周知
 広報紙「公社ニュース トキメキ」、区・公社ホームページ、利用案内、スタッフ募集パンフレット等により、放課後子ども教室の事業周知を行った。

6 「新・足立区放課後子ども総合プラン」の実現

- (1) 学童保育室との連携
 学童保育室の指導員と活動時の留意事項の情報共有を随時行った。
- (2) 体験プログラムの拡充 (P11~13 参照)
 放課後子ども教室での児童の活動内容が、集団遊びから一人遊びが中心となり、一人遊びに適したもの、スタッフの介在なしに児童が自主的に体験できるようなプログラムを提案した。
- (3) 特別な配慮を必要とする児童への対応
 区の依頼に基づき、子ども支援センターげんき作成の研修動画(10分)を、スタッフ会議や学校巡回の際に上映し、知識の定着に努めた。

<実績>

実施
結果

項目	令和3年度	令和2年度
開催期間	令和3年4月~4年3月 (休校により9/1~11一斉休止)	令和2年6月~3年3月 (休校により4~5月一斉休止)
のべ実施日数	6, 214日	6, 239日
のべ参加児童数	205, 887人	197, 996人
活動スタッフ人数	1, 117人	1, 162人
各教室への巡回	1, 871回	1, 787回
会議・打合せ・説明会等	666回	707回

<ケガ・物損等の対応>

項目	令和3年度	令和2年度
児童のケガ・物損等に 伴う 保護者対応	ケガ450件 内訳 通院あり 65件 (うち入院2件) 物損 2件	ケガ378件 内訳 通院あり 54件 (うち入院1件) 物損 4件
スタッフのケガ・物損等に 伴う 保険対応	ケガ5件 内訳 通院あり 5件 (うち入院1件) 物損 1件	ケガ4件 内訳 通院あり 4件 (うち入院1件) 物損 0件

事業評価 と課題へ の対応	<p>1 放課後子ども教室の開催については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度途中の休止や事業内容の縮小を余儀なくされた。令和3年度末には52校が休止となったが、令和4年4、5月に向け66校の再開につなげることができた。</p> <p>2 感染症の状況をみながら、コロナ禍以前の実施内容（全学年・週5日・複数会場での活動）に戻していくため、他校の実施状況や実施に対する工夫などの情報提供をし、運営へのサポートを行う。</p> <p>3 スタッフ研修会は、集合型の研修と併せて映像資料を活用することができた。令和4年度においても、動画配信等の実施を調整していく。</p>
---------------------	---

あだち放課後子ども教室：放課後の小学校の校庭や図書室等を活用し、小学生に安全安心な居場所を提供する足立区教育委員会主催の事業。地域の方々が安全管理員(以下、スタッフ)として、見守る中、子どもたちが自主的に遊び、学び、読書等さまざまな体験、交流をおこなう活動場所

【2】「放課後 + One」 (放課後子ども教室における体験プログラム) 定款第4条第1項第1号 (1)体験プログラムの提供 ①体験プログラム等	プラスワン 予算現額	1,889,000円
	執行額	1,554,014円

(ア) 地域人材活用・体験プログラム		予定回数/目標人数		実施結果	
		232回	3,080人	10回	169人
概要	公社が育成した人材を紹介し、実行委員会が実施するプログラム				
目的	①おりがみ教室では想像力の醸成と集中力の向上、読書支援では本への興味関心を高める。 ②子どもに関わる地域人材を増やすことにより、子どもの体験・交流活動を促進する。 ③地域人材を子どもの活動支援者として活躍してもらおう機会を創る。				
実施 結果	放課後キッズおりがみ教室 (予定24校、実績4校)	192回	2,880人	10回	169人
	放課後キッズ読書支援 (予定5校)	40回	200人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
事業評価 と課題へ の対応	<p>1 コロナ禍により、対面活動が制限されたこともあり、おりがみ教室、読書支援ともに定期的な開催はできなかった。今後は感染状況を踏まえながら、密にならない工夫のもとに再開を図っていく。</p> <p>2 長門小、北鹿浜小2校で、新たに「おりがみ教室」を実施し、児童の体験活動の拡充につなげることができた。</p>				

(イ) 団体連携・体験プログラム		予定回数/目標人数		実施結果	
		67回	1,340人	6回	89人
概要	公社が企業等の団体と連携し、実施するプログラム				
目的	①児童の体験・交流活動を充実させる。 ②読書推進や体力向上などの課題解決につながる一助とする。				
実施結果	(1) スポーツスタッキング教室 (予定5校、実績2校) (総合型地域スポーツクラブ U&U)	30回	600人	4回	45人
	(2) 植物クラフト (予定4校、実績2校) (足立区みどり公園推進室みどり推進課)	8回	160人	2回	44人
	(3) ミニコンサート&楽器体験 / 予定6校 (AJBT アンサンブル)	6回	180人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	(4) どうぶつしょうぎ教室 / 予定3校 (どうぶつしょうぎを育てる会「いっぽ」)	3回	60人		
	(5) 将棋教室 / 予定1校 (公益社団法人日本将棋連盟)	8回	160人		
	(6) ビブリオバトル / 予定2校 (株式会社グランディオサービス)	4回	60人		
	(7) 英語遊び&歌体操ダンス / 予定2校 (株式会社リメンバランス)	4回	60人		
	(8) プログラミング体験教室 / 予定2校 (東京都専門人材を活用した活動プログラムの充実事業)	2回	30人		
	(9) 生物園連携プログラム / 予定2校 (足立区生物園)	2回	30人		
事業評価と課題への対応	<p>1 体験プログラムの開催に向け、連携先の現況確認・日程調整を行ったり、東京都の「専門人材を活用した活動プログラムの充実事業」へ応募するなど準備をしたが、感染症拡大により、中止となった。</p> <p>2 「植物クラフト教室」は、区連携先から教材提供を受ける形で実施した。令和4年度も、連携先の直接指導以外の方法も含め、プログラム再開に向け、様々な工夫をする。</p>				

- (1) スポーツスタッキング : 数個のカップを積み上げて、元に戻すスピードを競う競技
- (2) 植物クラフト : 押し花のカードや小枝のストラップ作り等、植物に親しむ工作
- (4) どうぶつしょうぎ : 3×4 マスの盤で動物の絵が描かれた駒で対戦。将棋のルールを簡略化したゲーム
- (6) ビブリオバトル : 数人の発表者が本を紹介、一番読みたい本に投票する、読書啓発につながるゲーム
- (8) プログラミング体験教室 : カードゲームやタブレット端末を用い、コンピュータが使われている身近な物の仕組みを理解する教室

(ウ) 公社企画・体験プログラム		予定回数	実施結果
		10 種目	11 種目
概要	公社が実行委員会に外部指導者なしで実施可能なプログラムを提案し、スタッフの声掛けにより行うプログラム		
目的	①児童の体験・交流活動を充実させる。 ②読書推進や体力向上などの課題解決につなげる一助とする。		
実施結果	(1) スポーツスタッキング (2) 天下統一 (3) 投げる遊び (4) キックベースボール (5) ケンパ遊び (6) パズル・ゲーム (7) 読書の通帳 (8) 大型図書等 (9) チャレンジ!知る見る・ザ・ワールド (10) 遊びながら学べるプリント (11) モルック		
事業評価と課題への対応	放課後子ども教室での児童の活動内容が、集団遊びから、一人遊び中心となっている現状にあわせ、一人遊びに適した内容、スタッフの支援なしに取り組むことができるようなプログラムを公社から提案し、実施した。		

- (2) 天下統一：柔らかいボールを使用し、ボール遊びが苦手な子も参加しやすい変則型のドッジボール
- (3) 投げる遊び：たまねぎ型のボール投げや的当てなど、投げる力を養う運動あそび全般
- (6) パズル・ゲーム：思考力を育むパズルや児童同士の交流につながるゲームを紹介する取り組み
- (7) 読書の通帳：読んだ本のタイトルを記入する通帳型のカード
- (8) 大型図書等：新聞紙大の絵本、パネルシアター等、子どもの目を惹く図書資料を貸し出す取り組み
- (9) チャレンジ!知る見る・ザ・ワールド：世界の国々へ関心を持つきっかけとなるような書籍や地球儀等を用いて「チャレンジポケット」や「国旗しおり」、「万国旗」を作成する取り組み
- (10) 遊びながら学べるプリント：朝日新聞社開発の放課後活動用のプリント(言葉遊び、数字パズル等)
- (11) モルック：棒を投げてピンを狙う棒倒しのスポーツで、木製のピンを倒すことで点数を競うもの

【3】あだち放課後子ども教室スタッフ募集PR動画の作成、配信 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ②放課後子ども教室事業案内等作成	予算現額	814,000 円
	執行額	813,290 円
	予定回数	実施結果
	随時	随時
概要	放課後子ども教室及びスタッフの活動内容や体験談等を紹介し、スタッフ募集を目的とした動画の作成、配信	
目的	スタッフ活動の魅力を発信し、スタッフの安定確保を図る。	
実施結果	1 放課後子ども教室及びスタッフの活動内容を動画データとして作成した。 (インフォーマーシャル編 1分30秒、本編 7分) 2 YouTube や Facebook での配信、J:COM 足立局のコミュニティチャンネルにて随時放映(令和4年2~3月 118回)、公社ホームページからの視聴などを通じて、多くの区民に発信した。	
事業評価と課題への対応	1 新規のスタッフ募集につながることをはじめ、視聴した現任スタッフのモチベーションアップに貢献した。また40校ほどの小学校で学校ホームページに掲載された。 2 令和4年度はスタッフ活動説明会での視聴をはじめ、J:COM コミュニティチャンネルの放映(時期未定)によって、より多くのスタッフ募集につなげる。	

2 文化事業

文化事業	予算現額	12,822,000 円
	執行額	7,208,599 円

【1】あだちアートリンクカフェ 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①文化団体等地域人材育成	予算現額		80,000 円			
	執行額		46,720 円			
	予定回数/目標人数		実施結果			
	3 回	75 人	2 回	40 人		
概要	アートに関わる方々を対象とした、新たな出会いと交流を図る情報交換会					
目的	① 情報交換と交流により、各自の地域での活動の幅を広げ、地域の持つ力の向上を図る。 ② 出会いをきっかけとして、参加者による自主的な活動を創出する。 ③ 交流会を実施することにより新たな区民還元となる文化事業につなげる。					
実施結果	第 82 回	1 回	25 人	1 回	20 人	
	6 月 25 日(金)夜間 生涯学習センター 講堂 「詩と場と広がりについて」 ゲストスピーカー:黒川 武彦氏(詩人、俳優、映像作家、BUoY スタッフ)					
	第 83 回	1 回	25 人	1 回	20 人	
10 月 22 日(金)夜間 生涯学習センター 講堂 「音楽が与える影響力」 ゲストスピーカー:齋藤 友香理氏(指揮者)						
事業評価と課題への対応	第 84 回	3 月	内容未定	1 回	25 人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	1 コロナ禍において文化芸術活動にかかる制約が多い中、参加者個々の活動状況等を報告し、情報交換と交流を行った。					
	2 前年度の参加者アンケートをきっかけに、国内外で活躍する指揮者をゲストスピーカーに迎えて海外での活動や音楽に関する貴重な体験談を伺った。また、詩人の方をゲストスピーカーに迎えた際には、テーマや経歴に興味を持ち、区内の図書館長や朗読師等が参加して新たな広がりを見せた。					
3 毎回のテーマとゲストスピーカーの選定にあたっては、参加者からのゲストスピーカーの紹介や、テーマに関するリクエストなどを広く募り、関心の高い内容を実施していく。						

【2】文化団体等支援 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ②文化団体等支援		予算現額		— 円	
		執行額		— 円	
		予定回数/目標人数		実施結果	
		6回	—	5回	1,529人
概要	自主的な文化活動を行う区民、団体に対する助言や活動場所提供などの支援				
目的	活動に対する助言や場の提供の支援により、区民文化活動の充実に寄与する。				
実施結果	足立吹奏楽団 第30回スプリングコンサート 5月30日(日)午後 西新井文化ホール	1回	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	ブリランテ夏の mini コンサート 7月9日(金)夜間 西新井文化ホール	1回	—	1回	261人
	歓喜の演 Vol.20 <合唱> 9月12日(日)午後 西新井文化ホール	1回	—	1回	250人
	歓喜の演 20周年記念特別公演 12月4日(土)午後 西新井文化ホール	—	—	1回	324人
	ブリランテ冬のコンサート 12月12日(日)午後 西新井文化ホール	1回	—	1回	440人
	歓喜の演 Vol.20 <狂言> 1月16日(日)午後 西新井文化ホール	1回	—	1回	254人
	足立吹奏楽団 第42回定期演奏会 2月20日(日)午後 西新井文化ホール	1回	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
事業評価と課題への対応	主体的に文化芸術活動に取り組む区内の団体に対し、練習会場の確保、広報資料や感染防止対策への助言などの支援を行った。今後も各団体の活動が継続できるように、支援していく。				

【3】イベントコーディネート事業 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ②文化団体等支援		予算現額		—	
		執行額		—	
		予定回数/目標人数		実施結果	
		随時	—	4件	—
概要	地域の団体・機関、小学校等からのイベントの企画・運営や出演者に関する相談窓口				
目的	地域での主体的な文化芸術活動を支援する。				
実施結果	<1> 足立ジュニア吹奏楽団の番組収録出演の相談(TBS「オトラクション」プロデューサー)				
	<2> 天空劇場で行うコンサートについての動画配信や区の後援に関する相談(全日本ピアノ指導者協会バンブーストリートステーション)				
	<3> アウトリーチコンサートの内容や開催方法についての相談(都立花畑学園)				
	<4> 地域文化の発展と地域社会の課題解決に取り組む音楽家を育成するプログラムの一環としてアウトリーチコンサートを実施する施設についての相談。(東京藝術大学・桐朋学園大学共同プロジェクト「MUSIC BRIDGE」事務局) ※文化庁委託事業「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」				

事業評価 と課題へ の対応	今年度は4件の相談があったが、〈1〉～〈3〉は依頼者の事情により実施に至らなかった。 〈4〉については、こども支援センターげんきを紹介し、「適応指導教室(チャレンジ学級)」 に登録する中学生を対象に、箏とコントラバスの演奏、演奏家と生徒との交流を行った。引 き続き、依頼者のニーズに合ったコーディネートや助言等の支援を行っていく。
---------------------	--

【4】楽団及び楽団友の会の運営支援、演奏活動 の支援 <区受託> 定款第4条第1項第5号 (2)足立ジュニア吹奏楽団支援 ①足立ジュニア吹奏楽団 の支援	予算現額		4,170,000 円			
	執行額		2,510,676 円			
	予定回数/目標人数		実施結果			
	98 回	12,280 人	52 回	2,919 人		
概要	足立ジュニア吹奏楽団の育成・活動の支援					
目的	①生涯にわたり音楽活動に関わり、音楽を愛好する児童の育成を図る。 ②楽団活動を通して、足立区の音楽文化の向上、発展に寄与し、魅力ある地域づくりに貢 献する。					
実施 結果	<定期練習>					
	主に水曜日夜間、土曜日午後		75 回	3,375 人	44 回	1,822 人
	島根小学校音楽室、ギャラクシティ、西新井文化ホールなど					
	※まん延防止等重点措置の期間は休止。					
	<楽団活動>					
	入団式		1 回	80 人	1 回	76 人
	4月17日(土)午後 庁舎ホール					
	楽団友の会総会		1 回	30 人	書面開催	
	※楽団友の会:団員の保護者等で組織し、楽団を運営する会。					
	夏合宿		1 回	75 人	新型コロナウイルス感染 症拡大防止のため中止	
	8月21日(土)～23日(月) 日光林間学園					
	ブラスキッズ		5 回	40 人		
	1月29日～3月(土)午後 島根小ほか					
	※ブラスキッズ:楽団員と一緒に演奏の練習をする体験会。 (小学3年生対象)					
練習見学会		1 回	20 人	2 回	3 人	
1月～3月の練習時 島根小ほか						
卒団式		1 回	60 人	新型コロナウイルス感染 症拡大防止のため延期		
3月21日(月・祝)午後 西新井文化ホール						
<自主演奏会>						
第32回定期演奏会		5 回	1,700 人	新型コロナウイルス感染 症拡大防止のため延期		
3月21日(月・祝)午後 西新井文化ホール						
※上記の他、アリオ西新井でのサマーコンサート、クリスマスコンサートなど中止した。 ※以下は、団員の練習成果を発表する場として保護者等関係者向けに実施した。						

実施 結果	ボディパーカッション発表会 10月20日(水)夜間 生涯学習センター	—	—	1回	43人
	演奏発表会 11月20日(土)夜間 西新井文化ホール	—	—	1回	125人
	演奏発表会 12月11日(土)夜間 西新井文化ホール	—	—	1回	120人
	<派遣演奏/イベント出演>				
	セブン&アイ・クリエイトリンク Xmas リモート LIVE 12月25日(土)夜間 アリオ西新井 ※全国のアリオなど20店舗で、各地域の音楽団体による演奏の後、ゲストの三阪咲氏(シンガーソングライター)と全店舗の音楽団体がリモートで合奏するイベント。	8回	6,900人	1回	500人
事業評価 と課題への 対応	綾瀬警察署 「春の交通安全のつどい」 3月29日(火)午後 しょうぶ沼公園 ※上記の他、区民体育大会総合開会式(総合スポーツセンター)、ウルトラハロウィンキッズパレード(東京ドームシティ)など例年出演しているイベントは中止となった。	—	—	1回	230人
	1 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、練習の休止や演奏会・イベントの中止など、十分な活動ができなかった。また、新入団員が例年より少なく、団員数が昨年度の54人から42人に減少した。このような厳しい状況の中、動画を見ながらの個別練習やリモートレッスン、会場を分けての練習など、感染防止対策を講じて活動を継続した。 2 今後も、コロナ禍においても安全に活動を継続できるよう、練習会場の確保や演奏会の実施調整、楽団活動のPRや感染防止対策など、楽団及び楽団友の会を支援する。				

【5】足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬) 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ②文化団体等支援	予算現額	330,000円			
	執行額	89,640円			
	予定回数/目標人数	実施結果			
	4回	—	1回		
概要	足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏に伴う楽器運搬費用の助成				
目的	足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏を円滑に行う。				
実施 結果	Xmas リモート LIVE 12月25日(土)夜間 アリオ西新井	4回	—	1回	
事業評価 と課題への 対応	多くのイベントが中止となったため、楽器運搬費の助成は1回であった。アリオ西新井のイベントでは、大型楽器を含む全ての楽器運搬を支援することで、安全かつ円滑に派遣演奏を行うことができた。今後も演奏会等の活動を継続できるように支援する。				

【6】コンサート in ミュージアム 定款第4条第1項第1号 (2)文化イベント ①文化イベント	予算現額		4,356,000 円	
	執行額		1,444,633 円	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	10 回	500 人	—	—
概要	区内5か所の民間文化施設で実施するコンサートや催し物			
目的	①各施設の魅力とその特性を活かした良質のコンサートや催し物を区民に提供する。 ②5施設をつなぎコンサート等を実施することにより、区民への文化発信の相乗効果を図る。 ③各施設の主体的な事業運営を促すことにより、区民との協創関係を構築する。			
実施結果	2月27日(日)午後 昭和の家<平田邸> 「春の息吹をフルートとハープにのせて」 出演:森岡 有裕子氏(フルート)、福島 青衣子氏(ハープ)	2回/日	100人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、次年度に延期
	石洞美術館	2回/日	100人	令和3年度休館
	六町ミュージアム・フローラ	2回/日	100人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	わたなべ音楽堂<ベルネザール>	2回/日	100人	
	BUoY(ブイ)	2回/日	100人	
事業評価と課題への対応	1 昭和の家<平田邸>では、感染防止対策として定員を1回50人から25人に減員して開催準備を進めたが、まん延防止等重点措置の発令により延期とした。同じ内容のものを令和4年度に実施する予定である。他の4つの施設は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて各施設と協議し、全て中止とした。そのうち2つの施設については、動画の作成、配信を行った。(下記【7】参照) 2 今後は、幅広い年齢層の方に参加を促すため、親子・子ども向け公演の開催や一般向け公演での高校生優先枠の設置など、募集対象を広げる。			

当事業の予算及び執行額はP18の【6】に含む

【7】コンサート in ミュージアムPR動画の作成、配信 定款第4条第1項第1号 (2)文化イベント ①文化イベント	予定回数/目標人数		実施結果	
	随時	—	2施設作成 計4施設配信	
概要	コンサート in ミュージアム事業及び施設紹介の動画の作成、配信			
目的	区民にコンサート等の楽しさや各施設の魅力を伝える。			
実施結果	BUoY(ブイ) ※10月1日(金)～ YouTube 配信 テーマ:詩と声と音の見せる景色 内容:施設紹介、黒板 writing、詩の朗読、演奏 出演:黒板 writing/稲継 美保氏、詩の朗読/黒川 武彦氏、渡邊 邦彦氏、日野 あかり氏 演奏/かさねぎリストバンド(ダンス/阿部 萌氏)			
	六町ミュージアム・フローラ ※12月15日(水)～ YouTube 配信 テーマ:チェロとピアノが誘う音と絵画の世界 内容:施設紹介、チェロとピアノのコンサート 出演:西谷 牧人氏(チェロ)、新居 由佳梨氏(ピアノ)			

実施結果	令和2年度に作成した「わたなべ音楽堂」(癒しと情熱のクラシカルサクソフォン)、「昭和の家<平田邸>」(春の訪れはフルートとヴァイオリンの調べにのって)の動画も配信を継続した。
事業評価と課題への対応	1 施設の魅力を引き出すため、出演者の選定や撮影の時期、カメラのアングルなどについて各施設と協議を重ねて動画を作成した。それぞれの特徴が生かされた内容となり、両施設の代表やスタッフから好評を得ている。 2 動画の配信について、「公社ニュース トキメキ」やホームページ、Facebookやポスター・チラシなどにより周知をしている。今後は、令和4年度に動画作成を計画している石洞美術館や他施設の有観客開催の募集記事と合わせ、多くの人に動画配信をPRする。

当事業の予算及び執行額はP18の【6】に含む

【8】ドラムサークル in A-Festa 2021		予定回数/目標人数		実施結果
定款第4条第1項第1号		3回	300人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
(2)文化イベント ①文化イベント				
概要	打楽器で即興演奏を行う参加型イベント			
目的	打楽器体験を通して、世代を超えた参加者間のコミュニケーションを図る。			
実施結果	10月9日(土)午前・午後「A-Festa2021」荒川河川敷 虹の広場 エキサイティングゾーンで予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、「A-Festa2021」が中止となった。			

当事業の予算及び執行額はP18の【6】に含む

【9】まちかどミュージック		予定回数/目標人数		実施結果
定款第4条第1項第1号		4回	400人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
(2)文化イベント ①文化イベント				
概要	多くの人々が行き交う会場で思いがけず生演奏に触れる機会を提供するコンサート			
目的	①区民が文化芸術を身近なところで気軽に楽しめる機会を提供する。 ②コンサート体験を通じて、音楽の楽しさに気づき、区民の豊かな心を育む。			
実施結果	アリオ西新井等で開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。			

【10】小学校アウトリーチコンサート		予算現額		3,886,000円	
定款第4条第1項第1号		執行額		3,116,930円	
(3)生涯学習啓発 ①アウトリーチコンサート		予定回数/目標人数		実施結果	
		24回	600人	20回	610人
概要	小学校で低学年を対象に、生演奏の体験と演奏家とのコミュニケーションにより音楽への関心を醸成するコンサート				
目的	①間近でプロの演奏家の生演奏と働きかけにより音楽への興味関心を導き出す。 ②低学年を対象とすることにより、生涯にわたり音楽に親しむ豊かな人間性を育む。				

実施 結果	内容:ピアノとヴァイオリンのコンサート、楽器の音の出るしくみの説明、校歌の演奏など 出演:白石 光隆氏(ピアノ)、磯 絵里子氏(ヴァイオリン)				
	1月19日(水)午前 島根小 1年生3クラス	3回	75人	3回	92人
	1月20日(木)午前 高野小 1年生2クラス	3回	75人	2回	68人
	2月2日(水)午前 花保小 1年生3クラス	3回	75人	3回	93人
	3月2日(水)午前 鹿浜五色桜小 1年生2クラス	3回	75人	2回	68人
	内容:マリンバとピアノのコンサート、身近な楽器の使い方や様々な楽器の紹介など 出演:塚越 慎子氏(マリンバ)、小澤 佳永氏(ピアノ)				
	1月26日(水)午前 宮城小 1年生3クラス	3回	75人	3回	93人
	2月3日(木)午前 栗島小 1年生2クラス	3回	75人	2回	50人
	3月1日(火)午前 東綾瀬小 1年生3クラス	3回	75人	3回	84人
	3月9日(水)午前 桜花小 1年生2クラス	3回	75人	2回	62人
事業評価 と課題へ の対応	<p>1 今年度は、実施校を3校から8校に拡大した。新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅学習の児童が各校に数名いたが、リモートで視聴できるようにした。</p> <p>2 ピアノ・ヴァイオリンでは、楽器の音の出るしくみの紹介や楽曲の話、校歌の演奏などにより、児童の音楽への興味関心を高めた。また、マリンバ・ピアノでは、同じ曲の曲調を変えて演奏して児童に感想を聞き、「音楽の感じ方は全てが正解なので自分の思ったことを大切にしたい」と、自己肯定感を高めるメッセージを伝えた。</p> <p>3 児童からは、「演奏の仕方で音が変わることがわかった」「楽しくて嫌な気持ちがなくなった」「私もピアニストになりたい」などの感想があった。また、先生へのアンケートでは、「児童が目を輝かせながら楽器の説明や演奏を楽しんでいた」「手や体を動かしてリズムをとりながら演奏を聴いていた」「教室に戻ってからもコンサートの話をしていた」など好評であった。今後も子どもへの豊かな体験機会を提供していく。</p>				

当事業の予算及び執行額はP19の【10】に含む

【11】子どもの未来応援アウトリーチコンサート 定款第4条第1項第1号 (1)生涯学習啓発 ①アウトリーチコンサート	予定回数/目標人数		実施結果	
	3回	60人	2回	53人
概要	児童・保護者等を対象に、生演奏と演奏家とのコミュニケーションを図るコンサート			
目的	<p>①間近でプロの演奏家の生演奏と働きかけにより音楽への興味関心を導き出す。</p> <p>②生涯にわたり音楽に親しみ豊かな人間性を育む機会の場を提供することにより、子どもの貧困対策にも資する。</p>			

実施 結果	区内居場所施設(不登校生徒支援)	1回	20人	1回	7人
	7月27日(火)午前 六町ミュージアム・フローラ 内容:クラシックギターのコンサート、楽器の説明、施設と展示品の見学など 出演:松尾 俊介氏(クラシックギター)				
	子育てサロン千住大橋	1回	20人	1回	46人
実施 結果	12月17日(金)午前 ポンテポルタ千住大橋 内容:オカリナとギターのコンサート、アニメの主題歌や絵本を見せながらの演奏など 出演:山本 奈央氏(オカリナ)、志野 文音氏(ギター)				
	親子サロン (足立区女性団体連合会、足立区男女参画プラザ連携)	1回	20人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、 次年度に延期	
事業評価 と課題へ 対応の	1 7月、居場所施設(不登校生徒支援)に登録する中学生を対象に、美術館でクラシックギターのコンサートを開催した。間近でプロの生演奏を聴いたり演奏家と話したりした後に絵画を鑑賞するという内容で行った。居場所施設のスタッフは、「体験の少ない生徒たちなので、とても貴重な体験になった」との感想であった。				
	2 12月の子育てサロンでは、オカリナとギターによるコンサートを開催した。演目は、アニメの主題歌や絵本を見せながらの演奏など、乳幼児に合わせて趣向を凝らした。保護者へのアンケートでは、「なかなか機会がないので楽しめました」「オカリナとギターの音色に癒されました」「赤ちゃんと楽しめるコンサートは嬉しい」など好評であった。今後も子どもに関わる施設と連携し、このような体験機会を提供していく。				

3 生涯学習・スポーツ事業

生涯学習・スポーツ事業	予算現額	995,000 円
	執行額	572,378 円

【1】あだち子どもサポーター支援事業 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①文化団体等地域人材育成	予算現額	443,000 円		
	執行額	254,013 円		
	予定回数/目標人数	実施結果		
	255 回	386 人	25 回	310 人

養成講座	概要	子どもの体験・交流活動に関わる地域人材の育成講座		
	目的	①地域人材を発掘・育成する。 ②子どもの活動をサポートしている地域人材の指導力の向上を図る。		
スキルアップ講座	概要	こどもサポーター活動に必要なスキルアップ支援講座		
	目的	①サポーター活動に必要な技術の向上を図る。 ②子どもの体験・交流活動を支えるサポーター活動の継続に役立つ研修機会を提供する。		
サポーターフォロー講座	概要	こどもサポーター活動を継続するための意識啓発講座		
	目的	①活動のモチベーションの向上を図る。 ②ボランティアとしての基礎知識と活動姿勢を身に付ける研修機会を提供する。		
サポーター活動支援	概要	こどもサポーター活動の始動や継続化のコーディネート、活動課題に対するアドバイス等 ※活動場所調整(放課後子ども教室実行委員会・スタッフ・保育園・高齢者施設等)		
	目的	①サポーターの活動場所を確保し定期活動につなげる。 ②サポーターの主体的活動への発展を目指す。		
サポーターネットワーク支援	概要	各サポーター活動での工夫や特色などを学び合う交流会等		
	目的	①活動者相互の情報交換・技術向上。 ②自主活動を促進し、区民への学習機会の提供につなげる。		

(1)読み語りボイストレーニング (2)読み語りキャラバン隊 (欄外説明参照)

	実施予定	予定回数/目標人数		実施結果	
養成講座	読み語りのためのボイストレーニング講座《5日制》	1回	14人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	1月27日～2月24日(毎木曜日) 午前、生涯学習センター 講師:山下 芳子氏(足立区演劇連盟、演出家)				
スキルアップ講座	読み語りボイストレーニングスキルアップ講座	1回	16人	1回	14人
	3月24日(木) 午前 生涯学習センター 講師:山下 芳子氏(足立区演劇連盟、演出家)				
サポーター活動支援	読み語りキャラバン隊の活動の支援(自主公演)	3回	—	3回	42人

サポーター ネットワーク 支援	読み語りキャラバン隊・自主練習会	7回	70人	5回	57人
	読み語りキャラバン隊・活動連絡会	1回	20人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
(3)おりがみサポーター					
	実施予定	予定回数/目標人数		実施結果	
養成講座	子どもと遊ぶおりがみ教室《5日制》 10月7日～10月28日(毎木)午前 生涯学習センター 10月27日(水)実習・午後 北鹿浜小学校、長門小学校 講師:西川 光恵氏(日本折紙協会認定講師、教育カウンセラー)	1回	16人	1回	14人
	おりがみサポータースキルアップ講座 《2日制×2コース》 Aコース:11月5日～11月22日(毎月)午前 生涯学習センター (参加36人) Bコース:12月2日～12月9日(毎木)午前 生涯学習センター (参加36人) 講師:西川 光恵氏(日本折紙協会認定講師、教育カウンセラー)	2回	60人	2回	72人
スキルアップ 講座	おりがみサポーター1年目活動支援 10月21日(木)午前 生涯学習センター 講師:西川 光恵氏(日本折紙協会認定講師、教育カウンセラー)	1回	10人	1回	7人
サポーター 活動支援	おりがみサポーターの活動支援 (24校)	192回	—	10回	34人
サポーター ネットワーク 支援	おりがみサポーター交流会Ⅰ 7月19日(月)午前 生涯学習センター 対象:サポーター活動中の方、活動を希望している方	1回	40人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	おりがみサポーター交流会Ⅱ 1月19日(水)午前 生涯学習センター 対象:サポーター活動中の方、活動を希望している方	1回	40人	1回	58人
(4)放課後あそびサポーター(運動系)					
	実施予定	予定回数/目標人数		実施結果	
養成講座	放課後あそびサポーター講習会 3月30日(水)午前 生涯学習センター 講師:公社放課後子ども教室担当職員運動サポートチーム	1回	20人	1回	12人
(5)放課後子ども教室読書支援サポーター					
	実施予定	予定回数/目標人数		実施結果	
養成講座	放課後読書支援サポーター講習会	1回	20人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
サポーター 活動支援	読書支援サポーター活動支援(5校)	40回	-		

(6)子どもサポーター(共通)				
	実施予定	予定回数/目標人数		実施結果
サポーター フォロー講座	サポーターフォロー講座Ⅰ(交流研修) ～子どもとの関わりについて～	1回	30人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	サポーターフォロー講座Ⅱ(子どもの理解) ～子どもの理解の仕方や接し方～ 2月28日(月)午前 生涯学習センター 講師:藤後 悦子氏(東京未来大学こども心理学部教授)	1回	30人	
事業評価と課題への対応	<p>1 「読み語りのためのボイストレーニング講座」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を受け、講座が中止となったため、今年度、新メンバーを読み語りキャラバン隊(欄外参照)へ送り込むことが出来なかった。また、コロナ禍の状況の中、定員14名のところ、47名の申し込みがあった。</p> <p>2 「子どもと遊ぶおりがみ教室」は、養成講座終了後、長門小、北鹿浜小にサポーターの方をつなぐことができ、新たに「おりがみ教室」実施校が2校増えた。</p> <p>3 「放課後あそびサポーター講習会」では、コロナ禍の状況を鑑み、物を使わない遊びや、集団で遊ばない遊びをメインに紹介した。</p> <p>4 子どもサポーター支援事業で養成してきたサポーターにとって、生涯学習を通した生きがいづくりとなっている。今後も、この活動が長く続けられるよう、公社として、ボランティア活動に対する意識の向上、個々の質の向上、サポーター同士のネットワークなどの支援部分を重視していく。</p>			

読み語りキャラバン隊：公社主催「読み語りのためのボイストレーニング講座」修了者有志(ボランティア)により編成

【2】スポーツ指導者スキルアップ講習会 <<区受託>> ～運動機能向上のためのトレーニング(高齢者)～ 定款第4条第1項第5号 (3)体力向上支援人材育成 ①指導者養成 他	予算現額		234,000円		
	執行額		104,255円		
	予定回数/目標人数		実施結果		
	4回	120人	2回	78人	
概要	高齢者を指導する地域のスポーツ指導者や高齢者に関わる活動に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会				
目的	①地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 ②「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な運動機能向上プログラムを普及する。				
実施結果	前期高齢者の運動指導Ⅰ (運動プログラムの体験と指導のポイント) 12月12日(日)午前 生涯学習センター 講師:田中 秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー)	1回	30人	1回	39人

実施結果	前期高齢者の運動指導Ⅱ (実践プログラムづくりと展開方法) 12月12日(日)午後 生涯学習センター 講師:田中 秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー) 《パークで筋トレ体験講習指導》 松尾みどり氏(パークで筋トレ指導員)	1回	30人	1回	39人
	後期高齢者の運動指導Ⅰ (身体特性の理解と運動効果) 2月6日(日)午前 生涯学習センター 講師:村上 憲治氏(帝京科学大学医療科学部教授)	1回	30人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、次年度に延期	
	後期高齢者の運動指導Ⅱ (運動処方方の留意点) 2月6日(日)午後 生涯学習センター 講師:田中 秋乃氏(健康運動指導士、日本アコンディショニング協会マスタートレーナー) 《パークで筋トレ体験講習指導》出井芳恵氏(パークで筋トレ指導員)	1回	30人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、次年度に延期	
事業評価と課題への対応	<p>1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「前期高齢者の運動指導」の延期が続いたため「後期高齢者の運動指導」については1月以降に開催を予定したが、こちらも「まん延防止等重点措置」の延長に伴い、年度内に開催することができなかった。</p> <p>2 区介護予防事業「パークで筋トレ」のミニ講座を組み込み、事業の体験や指導内容を把握していただいた上で事業協力の呼びかけを行い、指導やサポーターとしての活動を希望した9名をスポーツ振興課へつないだ。今後も、地域人材が地域で活動する「パークで筋トレ」事業につながるよう事業を進めていく。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、数回にわたり講座が延期となったため、区公認スポーツ指導員の資格保有者が、更新のための単位取得ができない状況が続いた。</p>				

当事業の予算及び執行額はP24の【2】に含む

【3】スポーツ指導者スキルアップ講習会 《区受託》 ～運動あそびと体力向上トレーニング(子ども)～ 定款第4条第1項第5号 (3)体力向上支援人材育成 ①指導者養成 他		予定回数/目標人数		実施結果	
		4回	120人	2回	28人
概要	子どもを指導する地域のスポーツ指導者や保育・学校体育等に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会				
目的	①地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 ②「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な体力向上プログラムを普及する。				
実施結果	子どもの運動あそびⅠ (子どもの体力の現状とあそびの重要性) 7月3日(土)午前 生涯学習センター 講師:篠原 俊明氏(共栄大学教育学部専任講師)	1回	30人	1回	14人
	子どもの運動あそびⅡ (楽しい運動あそびの実践例と展開方法) 7月3日(土)午後 生涯学習センター 講師:篠原 俊明氏(共栄大学教育学部専任講師)	1回	30人	1回	14人

実施結果	小学生の運動あそびⅠ (発達課題に応じた指導のポイント) 2月19日(土)午後 生涯学習センター 講師:篠原 俊明氏(共栄大学教育学部専任講師)	1回	30人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	小学生の運動あそびⅡ (実践プログラムづくりと評価) 2月19日(土)午後 生涯学習センター 講師:篠原 俊明氏(共栄大学教育学部専任講師)	1回	30人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
事業評価と課題への対応	<p>1 運動あそびは、基礎的な体力や動きの発達の他、人間関係やコミュニケーション能力が育まれるなど、心身の発達に、とても効果的であるため、未就学児と小学生対象に講座を分けて開催した。</p> <p>2 小学生編は、9月に続き2月と2回延期となり、年度内は開催できなかった。次年度も学校でプログラム展開することを念頭に置き、日常的に手に入りやすい道具を使うプログラムを盛り込み、引き続き開催する。</p>			

【4】健康づくり・スポーツ活動支援講座 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援	予算現額		173,000円		
	執行額		129,589円		
	予定回数/目標人数		実施結果		
	2回	60人	2回	63人	
概要	健康づくり・スポーツ活動や、そのサポートをする人の学習を支援する講座				
目的	<p>①生涯スポーツを楽しく安全に継続するためのトレーニング理論を学ぶ機会を提供する。</p> <p>②スポーツ科学の第一線の講師による最新情報を提供する。</p>				
実施結果	スポーツコンディショニング講座 ～“コンディションを整える”とは～ 6月26日(土)午前 生涯学習センター 講師:宮下 智氏(帝京科学大学・大学院教授)	1回	30人	1回	32人
	あだちウエルネスカレッジ ～コロナ禍における食のエッセンス～ 12月8日(水)午前 生涯学習センター 講師:堀口 泰子氏(スポーツ栄養士、フリーランス栄養士)	1回	30人	1回	31人
事業評価と課題への対応	<p>1 「スポーツコンディショニング講座」は、健康づくり・スポーツ活動実践者や、その活動をサポートする人を支援する講座として開催している。今回は帝京科学大学・大学院の宮下教授に「コンディションを整えるとは」をテーマに講義を依頼した。参加者からは「正しい姿勢、体幹の重要性を改めて認識した」「医学や生理学の新たな情報をどんどん発信して欲しい」などの感想をいただいた。今後も区内の大学等と連携しながら講座を開催する。</p> <p>2 「あだちウエルネスカレッジ」は、健康・体力づくり関係の講師による最新情報を提供している。今回は内面的な健康の維持・増進も視野に入れ、「食(栄養)」をテーマに開催した。受講者は、10代～70代と幅広く、半数は70歳以上の方で、受講後、「よく噛んで食べることが腸のために大切だとわかった」、「すぐ実践できる食生活に関する指標を提供いただけて良かった」との感想をいただいた。今後も、さまざまな情報を提供していく。</p>				

当事業の予算及び執行額は P26 の【4】に含む

【5】地域活動支援講座 定款第 4 条第 1 項第 3 号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援		予定回数/目標人数		実施結果	
		2 回	60 人	1 回	40 人
概要	地域活動に関わる人の学習を支援する講座				
目的	子どもに関わる大人が、それぞれの活動に活かせる知識を習得する。				
実施結果	子ども学講座 I (子どものことを考える大人の勉強会) ～子ども同士のトラブル！その時大人は？～ 10 月 27 日(水)午前 生涯学習センター 講師:藤後 悦子氏(東京未来大学こども心理学部教授)	1 回	30 人	1 回	40 人
	子ども学講座 II (子どものことを考える大人の勉強会) ～ネットいじめに直面する子どもへの支援～ 3 月 8 日(火)午前 生涯学習センター 講師:須田 誠氏(東京未来大学こども心理学部教授)	1 回	30 人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、次年度に延期	
事業評価と課題への対応	<p>1 子どもに携わっている方を対象に、心理学的側面から見た子どもの言動などについて学ぶ機会を提供し、地域活動や日常生活に活かしていくための講座として開催した。</p> <p>今回は、前回の講座アンケートを基に、「子ども同士のトラブル」をテーマに開催し、参加者からは「トラブルが発生した時には目の前の事柄だけを見るのではなく、状況をよく把握して両方から事情を聴く」「聞き取りのポイント。何で？ではなく、教えてと声をかける」などの感想が多く寄せられた。</p> <p>2 「子ども学講座 II」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、ネットいじめに関する講座の要望が多いため、次年度も同じテーマで開催する。</p>				

当事業の予算及び執行額は P26 の【4】に含む

【6】地域学習コーディネート事業 定款第 4 条第 1 項第 3 号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援		予定回数/目標人数		実施結果	
		随時	—	1 件	—
概要	地域団体等が実施する学習会などの企画相談に応じ、講師紹介等を行う学習活動の相談窓口				
目的	地域での主体的な学習活動の活性化を図る。				
実施結果	JOTO クラブ(パークで筋トレ)指導員の相談 1 件				
事業評価と課題への対応	相談 1 件については、クラブに即した指導員が探せるよう、アドバイスや講師の提案を行った。今後も、地域団体の活動支援につながるよう、コーディネート事業として企画、提案などを行っていく。				

【7】読み語りキャラバン隊によるおはなし会 定款第4条第1項第1号 (1)体験プログラムの提供 ①体験プログラム等		予算現額		145,000 円	
		執行額		84,521 円	
		予定回数/目標人数		実施結果	
		6 回	150 人	3 回	84 人
概要	地域の施設等で、子どもや親子に読書に親しんでもらう機会を提供するイベント型おはなし会				
目的	①本や言葉に対する子どもの興味関心を高める。 ②親子や友達と本を介した共有体験を通して、コミュニケーションの機会を創る。				
実施結果	① 6月24日(木)午後 生涯学習センター	3 回	150 人	3 回	84 人
	②12月19日(日)午後 生涯学習センター				
実施結果	③ 3月31日(日)午後 生涯学習センター	3 回	—	—	—
	6月～3月 お話し会 地域図書館等 (動画作成、配信)				
事業評価と課題への対応	1 新型コロナウイルス感染防止を踏まえ、事前に人数が把握できるよう、「当日、直接会場へ」から「事前申し込み制」に変更して開催した。今年は、例年より子どもの参加が少なかった。 2 動画作成・配信を予定したが、題材となる大型絵本、パネルシアターの作品や、手遊びなどの音楽について、すべてに著作権が発生することや、キャラバン隊としては、観客と一体となり、一緒に読んだり歌ったり声を掛け合って活動することを意義としているため、全てを考慮し、動画作成は行わず、対面での発表形式に留まった。 3 新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、保育園やデイサービスなどへの出張を検討する。				

4 広報事業

広報事業	予算現額	10,250,000 円
	執行額	8,735,584 円

【1】「公社ニュース トキメキ」での事業等情報発信 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ①公社ニュース・ホームページ等作成	執行額		7,696,128 円	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	12 回	—	12 回	39 件
概要	「あだち放課後子ども教室」など受託事業情報や公社自主事業を掲載(取りまとめ・発行は足立区勤労福祉センターゆう、年12回、全戸配布)			
目的	公社事業を広く区民に周知する。			
実施結果	毎月1日発行、区内全戸配布(月33万部発行) 毎月、事業の募集案内等を掲載した。 <内訳> 放課後子ども教室6件(9月号1面掲載あり)、学習・スポーツ事業21件(4月号1面掲載あり)、文化事業10件(8月号1面掲載あり)、その他(放送大学学生募集、非常勤募集)2件			
事業評価と課題への対応	新型コロナウイルス感染症予防の観点から自主事業、受託事業とも延期や中止となる事業が多く、実施に合わせた掲載となった。今後も事業開催に合わせた時期に掲載を行う。			

【2】公社ホームページによる情報提供事業 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ①公社ニュース・ホームページ等作成	執行額		1,039,456 円	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	随時	—	随時	—
概要	公社概要や事業案内などの情報提供			
目的	公社事業への興味関心を高める。			
実施結果	<ol style="list-style-type: none"> 1 最新情報に更新した。 (内容)トキメキ掲載の事業案内、講座等の実施案内、放課後子ども教室の状況、令和2年度財務諸表・事業報告、令和4年度予算・事業計画、会社概要等 2 Facebookへの投稿 3 申し込みフォーム、スタッフ専用ページ運用 4 動画の掲載 5 アクセス数 月平均1,931回(昨年度1,753回) 総計23,174回(昨年度21,036回) 			
事業評価と課題への対応	放課後子ども教室スタッフ専用ページを活用して、スタッフに向けた研修動画の配信を行った。また、放課後子ども教室スタッフの募集や「コンサート in ミュージアム」の動画を掲載した。今後も、事業に合わせた形態で発信していく。			

5 その他

公益目的事業に対する人件費	予算現額	258,372,000 円
	執行額	238,330,115 円

【1】公益目的事業に対する人件費 定款事業別体系 1~4		執行額	238,330,115 円
概要	定款第4条第1項事業である「公益目的事業」を実施する職員の人件費		
実施結果	「公益財団法人足立区生涯学習振興公社の助成等に関する条例」による区補助金のうち、公益目的事業に係る人件費を按分(91%)した。		

6 その他前号に定める事業に関連する事業

その他前号に定める事業に関連する事業	予算現額	51,503,000 円
	執行額	44,957,271 円

【1】公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営 定款第4条第2項第4号【法人会計】		執行額	44,957,271 円
概要	理事会・評議員会の開催及び庶務事務、基本財産等の安全確実な資産運用及び経理事務等		
実施結果	「公益財団法人足立区生涯学習振興公社の助成等に関する条例」による区補助金のうち、公益目的事業に係る人件費を按分(9%)した。 令和3年度の理事会・評議員会は、新型コロナウイルス対策のため、決議の省略(みなし決議)による開催とした。		

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

令和3年度事業報告書

作成 公益財団法人足立区生涯学習振興公社
総務部 電話 03-5813-3724

うぐいす色

令和3年度

財務諸表

貸借対照表

正味財産増減計算書

キャッシュ・フロー計算書

附属明細書

財産目録



貸借対照表

令和04年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
(1) 現金預金			
現金 <1>	87,000	79,252	7,748
普通預金 <2>	207,229,202	196,852,753	10,376,449
定期預金 <3>	100,000,000	107,152,954	▲ 7,152,954
現金預金合計 <4>	307,316,202	304,084,959	3,231,243
(2) その他流動資産			
未収金 <5>	0	37,173	▲ 37,173
前払金 <6>	184,800	195,650	▲ 10,850
その他流動資産合計 <7>	184,800	232,823	▲ 48,023
流動資産合計 <8>	307,501,002	304,317,782	3,183,220
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金 <9>	500,000,000	500,020,000	▲ 20,000
投資有価証券 <10>	1,000,000,000	999,980,000	20,000
基本財産合計 <11>	1,500,000,000	1,500,000,000	0
(2) 特定資産			
職員退職手当積立金 <12>	172,281,231	162,847,046	9,434,185
特定資産合計 <13>	172,281,231	162,847,046	9,434,185
(3) その他固定資産			
事業運営賠償準備資産 <14>	100,000,000	100,000,000	0
リース資産 <15>	10,334,304	15,501,456	▲ 5,167,152
その他固定資産合計 <16>	110,334,304	115,501,456	▲ 5,167,152
固定資産合計 <17>	1,782,615,535	1,778,348,502	4,267,033
資産合計 <18>	2,090,116,537	2,082,666,284	7,450,253
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金 <19>	142,846,466	136,092,116	6,754,350
未払消費税等 <20>	78,000	0	78,000
預り金 <21>	1,690,650	2,330,998	▲ 640,348
賞与引当金 <22>	10,161,894	11,105,032	▲ 943,138
短期リース債務 <23>	5,167,152	5,167,152	0
流動負債合計 <24>	159,944,162	154,695,298	5,248,864
2 固定負債			
長期リース債務 <25>	5,167,152	10,334,304	▲ 5,167,152
退職給付引当金 <26>	172,281,231	162,847,046	9,434,185
固定負債合計 <27>	177,448,383	173,181,350	4,267,033
負債合計 <28>	337,392,545	327,876,648	9,515,897
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
基本財産 <29>	1,500,000,000	1,500,000,000	0
指定正味財産合計 <30>	1,500,000,000	1,500,000,000	0
(うち基本財産への充当額) <31>	(1,500,000,000)	(1,500,000,000)	0
2 一般正味財産			
一般正味財産 <32>	252,723,992	254,789,636	▲ 2,065,644
一般正味財産合計 <33>	252,723,992	254,789,636	▲ 2,065,644
正味財産合計 <34>	1,752,723,992	1,754,789,636	▲ 2,065,644
負債及び正味財産合計 <35>	2,090,116,537	2,082,666,284	7,450,253

貸借対照表内訳表

令和04年03月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
(1) 現金預金			
現金 <1>	87,000	0	87,000
普通預金 <2>	127,400,700	79,828,502	207,229,202
定期預金 <3>	50,000,000	50,000,000	100,000,000
現金預金合計 <4>	177,487,700	129,828,502	307,316,202
(2) その他流動資産			
前払金 <5>	0	184,800	184,800
その他流動資産合計 <6>	0	184,800	184,800
流動資産合計 <7>	177,487,700	130,013,302	307,501,002
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金 <8>	500,000,000	0	500,000,000
投資有価証券 <9>	1,000,000,000	0	1,000,000,000
基本財産合計 <10>	1,500,000,000	0	1,500,000,000
(2) 特定資産			
職員退職手当積立金 <11>	142,752,239	29,528,992	172,281,231
特定資産合計 <12>	142,752,239	29,528,992	172,281,231
(3) その他固定資産			
事業運営賠償準備資産 <13>	0	100,000,000	100,000,000
リース資産 <14>	0	10,334,304	10,334,304
その他固定資産合計 <15>	0	110,334,304	110,334,304
固定資産合計 <16>	1,642,752,239	139,863,296	1,782,615,535
資産合計 <17>	1,820,239,939	269,876,598	2,090,116,537
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金 <18>	130,974,480	11,871,986	142,846,466
未払消費税等 <19>	78,000	0	78,000
預り金 <20>	30,486	1,660,164	1,690,650
賞与引当金 <21>	9,247,323	914,571	10,161,894
短期リース債務 <22>	0	5,167,152	5,167,152
流動負債合計 <23>	140,330,289	19,613,873	159,944,162
2 固定負債			
長期リース債務 <24>	0	5,167,152	5,167,152
退職給付引当金 <25>	142,752,239	29,528,992	172,281,231
固定負債合計 <26>	142,752,239	34,696,144	177,448,383
負債合計 <27>	283,082,528	54,310,017	337,392,545
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
基本財産 <28>	1,500,000,000	0	1,500,000,000
指定正味財産合計 <29>	1,500,000,000	0	1,500,000,000
(うち基本財産への充当額) <30>	(1,500,000,000)	(0)	(1,500,000,000)
2 一般正味財産			
一般正味財産 <31>	37,157,411	215,566,581	252,723,992
一般正味財産合計 <32>	37,157,411	215,566,581	252,723,992
正味財産合計 <33>	1,537,157,411	215,566,581	1,752,723,992
負債及び正味財産合計 <34>	1,820,239,939	269,876,598	2,090,116,537

正味財産増減計算書

令和03年04月01日から 令和04年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息 <1>	6,604,430	9,128,413	▲ 2,523,983
基本財産運用益計 <2>	6,604,430	9,128,413	▲ 2,523,983
特定資産運用益			
特定資産受取利息 <3>	754,420	748,605	5,815
特定資産運用益計 <4>	754,420	748,605	5,815
その他の固定資産運用益			
その他固定資産受取利息 <5>	52,079	60,493	▲ 8,414
その他の固定資産運用益計 <6>	52,079	60,493	▲ 8,414
事業収益			
受託事業収益 <7>	125,615,158	127,820,588	▲ 2,205,430
事業収益計 <8>	125,615,158	127,820,588	▲ 2,205,430
受取補助金等収益			
受取区補助金 <9>	290,043,667	285,949,232	4,094,435
受取補助金等収益計 <10>	290,043,667	285,949,232	4,094,435
雑収益			
受取利息 <11>	36,080	57,448	▲ 21,368
雑収益 <12>	0	35,673	▲ 35,673
雑収益計 <13>	36,080	93,121	▲ 57,041
経常収益計 <14>	423,105,834	423,800,452	▲ 694,618
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬 <15>	3,573,984	3,741,605	▲ 167,621
給料手当 <16>	150,211,031	151,828,330	▲ 1,617,299
福利厚生費 <17>	37,506,052	37,461,670	44,382
退職給付費用 <18>	14,525,391	16,278,294	▲ 1,752,903
賃金 <19>	32,204,356	32,130,643	73,713
会議費 <20>	20,944	26,942	▲ 5,998
旅費交通費 <21>	123,874	128,110	▲ 4,236
通信運搬費 <22>	835,996	811,561	24,435
什器備品費 <23>	0	108,900	▲ 108,900
消耗品費 <24>	6,605,379	7,326,079	▲ 720,700
修繕費 <25>	112,761	308,066	▲ 195,305
印刷製本費 <26>	266,200	734,580	▲ 468,380
賃借料 <27>	724,969	790,676	▲ 65,707
保険料 <28>	1,272,940	1,512,060	▲ 239,120
租税公課 <29>	78,000	0	78,000
諸謝金 <30>	114,720,135	110,584,188	4,135,947
委託費 <31>	12,758,438	10,137,760	2,620,678
負担金 <32>	114,900	115,700	▲ 800
交付金 <33>	4,558,857	8,380,364	▲ 3,821,507
事業費計 <34>	380,214,207	382,405,528	▲ 2,191,321

正味財産増減計算書

令和03年04月01日から 令和04年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬 <35>	367,485	384,064	▲ 16,579
給料手当 <36>	14,856,045	15,015,765	▲ 159,720
福利厚生費 <37>	4,446,264	4,440,368	5,896
退職給付費用 <38>	1,388,794	1,564,092	▲ 175,298
賃金 <39>	3,185,070	3,177,781	7,289
旅費交通費 <40>	12,270	42,604	▲ 30,334
通信運搬費 <41>	2,179,329	2,183,224	▲ 3,895
什器備品費 <42>	898,370	183,480	714,890
消耗品費 <43>	834,789	866,351	▲ 31,562
修繕費 <44>	54,350	13,100	41,250
光熱水費 <45>	2,041,116	2,064,706	▲ 23,590
賃借料 <46>	2,581,820	2,456,562	125,258
減価償却費 <47>	5,167,152	5,167,152	0
保険料 <48>	262,080	243,340	18,740
租税公課 <49>	37,200	33,005	4,195
諸謝金 <50>	1,608,700	1,385,500	223,200
委託費 <51>	4,710,639	5,590,839	▲ 880,200
負担金 <52>	178,750	191,400	▲ 12,650
燃料費 <53>	147,048	125,852	21,196
管理費計 <54>	44,957,271	45,129,185	▲ 171,914
経常費用計 <55>	425,171,478	427,534,713	▲ 2,363,235
評価損益等調整前当期経常増減額 <56>	▲ 2,065,644	▲ 3,734,261	1,668,617
評価損益等計 <57>	0	0	0
当期経常増減額 <58>	▲ 2,065,644	▲ 3,734,261	1,668,617
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計 <59>	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計 <60>	0	0	0
当期経常外増減額 <61>	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額 <62>	▲ 2,065,644	▲ 3,734,261	1,668,617
当期一般正味財産増減額 <63>	▲ 2,065,644	▲ 3,734,261	1,668,617
一般正味財産期首残高 <64>	254,789,636	258,523,897	▲ 3,734,261
一般正味財産期末残高 <65>	252,723,992	254,789,636	▲ 2,065,644
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額 <66>	0	0	0
指定正味財産期首残高 <67>	1,500,000,000	1,500,000,000	0
指定正味財産期末残高 <68>	1,500,000,000	1,500,000,000	0
III 正味財産期末残高 <69>	1,752,723,992	1,754,789,636	▲ 2,065,644

正味財産増減計算書内訳表

令和03年04月01日から 令和04年03月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息 <1>	6,604,430	0	6,604,430
基本財産運用益計 <2>	6,604,430	0	6,604,430
特定資産運用益			
特定資産受取利息 <3>	730,005	24,415	754,420
特定資産運用益計 <4>	730,005	24,415	754,420
その他の固定資産運用益			
その他固定資産受取利息 <5>	0	52,079	52,079
その他の固定資産運用益計 <6>	0	52,079	52,079
事業収益			
受託事業収益 <7>	125,615,158	0	125,615,158
事業収益計 <8>	125,615,158	0	125,615,158
受取補助金等収益			
受取区補助金 <9>	245,110,811	44,932,856	290,043,667
受取補助金等収益計 <10>	245,110,811	44,932,856	290,043,667
雑収益			
受取利息 <11>	36,080	0	36,080
雑収益計 <12>	36,080	0	36,080
経常収益計 <13>	378,096,484	45,009,350	423,105,834
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬 <14>	3,573,984	0	3,573,984
給料手当 <15>	150,211,031	0	150,211,031
福利厚生費 <16>	37,506,052	0	37,506,052
退職給付費用 <17>	14,525,391	0	14,525,391
賃金 <18>	32,204,356	0	32,204,356
会議費 <19>	20,944	0	20,944
旅費交通費 <20>	123,874	0	123,874
通信運搬費 <21>	835,996	0	835,996
消耗品費 <22>	6,605,379	0	6,605,379
修繕費 <23>	112,761	0	112,761
印刷製本費 <24>	266,200	0	266,200
賃借料 <25>	724,969	0	724,969
保険料 <26>	1,272,940	0	1,272,940
租税公課 <27>	78,000	0	78,000
諸謝金 <28>	114,720,135	0	114,720,135
委託費 <29>	12,758,438	0	12,758,438
負担金 <30>	114,900	0	114,900
交付金 <31>	4,558,857	0	4,558,857
事業費計 <32>	380,214,207	0	380,214,207
管理費			
役員報酬 <33>	0	367,485	367,485
給料手当 <34>	0	14,856,045	14,856,045
福利厚生費 <35>	0	4,446,264	4,446,264
退職給付費用 <36>	0	1,388,794	1,388,794
賃金 <37>	0	3,185,070	3,185,070
旅費交通費 <38>	0	12,270	12,270
通信運搬費 <39>	0	2,179,329	2,179,329
什器備品費 <40>	0	898,370	898,370
消耗品費 <41>	0	834,789	834,789
修繕費 <42>	0	54,350	54,350
光熱水費 <43>	0	2,041,116	2,041,116
賃借料 <44>	0	2,581,820	2,581,820
減価償却費 <45>	0	5,167,152	5,167,152
保険料 <46>	0	262,080	262,080
租税公課 <47>	0	37,200	37,200
諸謝金 <48>	0	1,608,700	1,608,700
委託費 <49>	0	4,710,639	4,710,639
負担金 <50>	0	178,750	178,750
燃料費 <51>	0	147,048	147,048
管理費計 <52>	0	44,957,271	44,957,271
経常費用計 <53>	380,214,207	44,957,271	425,171,478
評価損益等調整前当期経常増減額 <54>	▲ 2,117,723	52,079	▲ 2,065,644
評価損益等計 <55>	0	0	0
当期経常増減額 <56>	▲ 2,117,723	52,079	▲ 2,065,644
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計 <57>	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計 <58>	0	0	0
当期経常外増減額 <59>	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額 <60>	▲ 2,117,723	52,079	▲ 2,065,644
当期一般正味財産増減額 <61>	▲ 2,117,723	52,079	▲ 2,065,644
一般正味財産期首残高 <62>	39,275,134	215,514,502	254,789,636
一般正味財産期末残高 <63>	37,157,411	215,566,581	252,723,992
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額 <64>	0	0	0
指定正味財産期首残高 <65>	1,500,000,000	0	1,500,000,000
指定正味財産期末残高 <66>	1,500,000,000	0	1,500,000,000
III 正味財産期末残高 <67>	1,537,157,411	215,566,581	1,752,723,992

キャッシュ・フロー計算書

令和03年04月01日から 令和04年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税引前当期一般正味財産増減額	▲ 2,065,644	▲ 3,734,261	1,668,617
2 キャッシュ・フローへの調整額			
前払金の増減額	10,850	39,150	▲ 28,300
未収金の増減額	37,173	284,245	▲ 247,072
未払金の増減額	6,754,350	76,617,059	▲ 69,862,709
未払消費税等の増減額	78,000	0	78,000
預り金の増減額	▲ 640,348	▲ 450,847	▲ 189,501
賞与引当金の増減額	▲ 943,138	680,226	▲ 1,623,364
退職給付引当金の増減額	9,434,185	▲ 24,892,971	34,327,156
減価償却費	5,167,152	5,167,152	0
小 計	19,898,224	57,444,014	▲ 37,545,790
事業活動によるキャッシュ・フロー	17,832,580	53,709,753	▲ 35,877,173
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 投資活動収入			
基本財産			
基本財産満期償還による収入	700,000,000	600,000,000	100,000,000
基本財産計	700,000,000	600,000,000	100,000,000
特定資産			
職員退職手当積立金取崩収入	0	36,255,357	▲ 36,255,357
特定資産計	0	36,255,357	▲ 36,255,357
その他の固定資産			
事業運営賠償準備資産預け替え収入	100,000,000	100,000,000	0
その他の固定資産計	100,000,000	100,000,000	0
投資活動収入計	800,000,000	736,255,357	63,744,643
2 投資活動支出			
基本財産			
基本財産預入による支出	▲ 700,000,000	▲ 600,000,000	▲ 100,000,000
基本財産計	▲ 700,000,000	▲ 600,000,000	▲ 100,000,000
特定資産取得支出			
職員退職手当積立金支出	▲ 9,434,185	▲ 11,362,386	1,928,201
特定資産取得支出計	▲ 9,434,185	▲ 11,362,386	1,928,201
固定資産取得支出			
事業運営賠償準備資産積立金支出	▲ 100,000,000	▲ 100,000,000	0
固定資産取得支出計	▲ 100,000,000	▲ 100,000,000	0
投資活動支出計	▲ 809,434,185	▲ 711,362,386	▲ 98,071,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 9,434,185	24,892,971	▲ 34,327,156
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
財務活動支出計	▲ 5,167,152	▲ 5,167,152	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5,167,152	▲ 5,167,152	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	3,231,243	73,435,572	▲ 70,204,329
VI 現金及び現金同等物の期首残高	304,084,959	230,649,387	73,435,572
VII 現金及び現金同等物の期末残高	307,316,202	304,084,959	3,231,243

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 平成21年10月1日から、公益法人会計基準(内閣府公益認定等委員会平成20年4月11日)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は購入時の取得価額による。なお、償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
リース資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産)を保有している場合は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
 - ・ 賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - ・ 退職給付引当金・・・職員の退職手当の支給に備えるため、相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (6) リース取引の処理方法
 - ・ リース会計基準適用初年度開始(平成20年4月1日)以降のリース総額300万円を超える所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
 - ・ 上記以外の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (7) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
 - ・ 資金の範囲には、現金及び流動性のある預金、有価証券を含めている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	500,020,000	0	20,000	500,000,000
投資有価証券	999,980,000	20,000	0	1,000,000,000
小 計	1,500,000,000	20,000	20,000	1,500,000,000
特定資産				
職員退職手当積立金	162,847,046	9,434,185	0	172,281,231
小 計	162,847,046	9,434,185	0	172,281,231
合 計	1,662,847,046	9,454,185	20,000	1,672,281,231

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	500,000,000	(500,000,000)	—	—
投資有価証券	1,000,000,000	(1,000,000,000)	—	—
小 計	1,500,000,000	(1,500,000,000)	—	—
特定資産				
職員退職手当積立金	172,281,231	—	—	(172,281,231)
小 計	172,281,231	—	—	(172,281,231)
合 計	1,672,281,231	(1,500,000,000)	—	(172,281,231)

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

銘柄	帳簿価額	時 価 (R4.3.31現在)	評価損益
第153回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券	100,000,000	99,836,600	▲ 163,400
第41回東京都住宅供給公社債券	100,000,000	97,998,400	▲ 2,001,600
第158回福岡北九州高速道路債券	100,000,000	98,651,300	▲ 1,348,700
第78回東日本高速道路株式会社社債	100,000,000	98,841,700	▲ 1,158,300
第30回西日本高速道路株式会社社債	100,000,000	100,226,100	226,100
第4回千葉県公募公債	100,000,000	101,839,100	1,839,100
第738回東京都公募公債	100,000,000	101,032,100	1,032,100
京王電鉄株式会社第33回社債	100,000,000	100,598,400	598,400
新関西国際空港株式会社第3回社債	100,000,000	100,576,200	576,200
第87回東日本旅客鉄道株式会社社債	100,000,000	100,387,500	387,500
合 計	1,000,000,000	999,987,400	▲ 12,600

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
人件費補助	足立区	0	7,225,409	7,225,409	0	-
公社管理運営補助		0	282,818,258	282,818,258	0	
合 計		0	290,043,667	290,043,667	0	

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載している。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	162,847,046	9,434,185	0	0	172,281,231
賞与引当金	11,105,032	10,161,894	11,105,032	0	10,161,894
引当金計	173,952,078	19,596,079	11,105,032	0	182,443,125

財 産 目 録

令和04年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産) 現金預金	現金	手元保管		87,000
	普通預金	普通預金 小計 みずほ銀行千住支店 足立成和信用金庫本店 城北信用金庫足立支店 大阪厚生信用金庫 きらぼし銀行 大阪商工信用金庫 東京東信用金庫 東京信用金庫 亀有信用金庫	運転資金として保有している	207,229,202
				171,168,306
				29,157,432
				6,884,900
				2,860
				5,280
				2,640
				5,350
				2,360
74				
定期預金	定期預金 小計 東京信用金庫		100,000,000	
現金預金合計			307,316,202	
その他流動資産	前払金	前払金 小計 通信運搬費	別紙「財産目録内訳書」のとおり	184,800
	その他流動資産合計			184,800
	流動資産合計			307,501,002
(固定資産) 基本財産	定期預金	定期預金 小計 足立成和信用金庫本店 大阪厚生信用金庫 東京シティ信用金庫 大阪商工信用金庫 きらぼし銀行		500,000,000
				100,000,000
				100,000,000
				100,000,000
				100,000,000
				100,000,000
	投資有価証券	地方債・事業債等 小計 第153回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 第41回東京都住宅供給公社債券 第158回福岡北九州高速道路債券 第78回東日本高速道路(株)社債 第30回西日本高速道路(株)社債 第4回千葉県公募公債 第738回東京都公募公債 京王電鉄(株)第33回社債 新関西国際空港(株)第3回社債 第87回東日本旅客鉄道(株)社債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に充てるために保有している財産である	1,000,000,000
				100,000,000
				100,000,000
				100,000,000
				100,000,000
				100,000,000
				100,000,000
基本財産合計			1,500,000,000	
特定資産	職員退職手当積立金	職員退職手当積立金 小計 定期預金 亀有信用金庫 有価証券 第7回大阪府住宅供給公社債 普通預金 みずほ銀行	職員の退職金の支払いに備えたもの	172,281,231
				50,000,000
				100,000,000
				22,281,231
特定資産合計			172,281,231	
その他固定資産	事業運営賠償準備資産	事業運営賠償準備資産 小計 定期預金 亀有信用金庫 東京東信用金庫	事業運営にかかる事故発生時の賠償金等に充てるために保有している財産	100,000,000
				30,000,000
				70,000,000
	リース資産	コンピュータ機器等	業務用端末等のリースによるもの	10,334,304
その他固定資産合計			110,334,304	
固定資産合計			1,782,615,535	
資産合計			2,090,116,537	
(流動負債)	未払金 未払消費税等 預り金 賞与引当金 短期リース債務	足立区への返還金等 職員給与にかかる税等 職員に対するもの コンピュータ機器等	別紙「財産目録内訳書」のとおり 別紙「財産目録内訳書」のとおり 職員の賞与の支払いに備えたもの リース資産に対する債務で支払期限が1年以内のもの	142,846,466
				78,000
				1,690,650
				10,161,894
	流動負債合計			159,944,162
(固定負債)	長期リース債務	コンピュータ機器等	リース資産に対する債務で支払期限が1年を超えるもの	5,167,152
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職金の支払いに備えたもの	172,281,231
	固定負債合計			177,448,383
負債合計			337,392,545	
正味財産			1,752,723,992	

公益財団法人 足立区生涯学習振興公社

財 産 目 録 内 訳 書

令和04年03月31日現在

【前払金の内訳】 (単位:円)

件 名	金 額
社内ネットワーク通信費(令和4年度分)	184,800
合 計	184,800

【未払金の内訳】 (単位:円)

件 名	金 額
第6期公社システム経費等業者払い(27件)	4,087,044
足立区返還金(補助金)	26,323,333
足立区返還金(委託料)	1,789,069
足立区返還金(放課後事業委託料)	2,664,365
足立区返還金(放課後事業協定分)	98,596,325
職員給与	718,156
講師等謝礼(3月実績)	369,000
光熱水費・通信運搬費	2,874,371
電話料金他通信運搬費	68,774
放課後子ども教室安全管理員謝礼(3月実績)	3,171,820
社会保険料事業主負担金	2,184,209
合 計	142,846,466

【預り金の内訳】 (単位:円)

件 名	金 額
所得税(放課後子ども教室安全管理員分)	30,486
所得税(職員・講師分)	490,044
住民税(職員分)	818,700
社会保険料(職員負担分)	351,420
合 計	1,690,650